

株式会社LegalOn Technologies

契約業務に関する調査 (2024年7月実施)



調査概要

目的	契約業務に関する調査
企画	株式会社LegalOn Technologies
実施	株式会社クロス・マーケティング
期間	2024年7月24日～7月29日
対象	会社員、会社役員いずれかに該当し、契約業務を行うことのある担当者500名
調査方法	インターネット調査

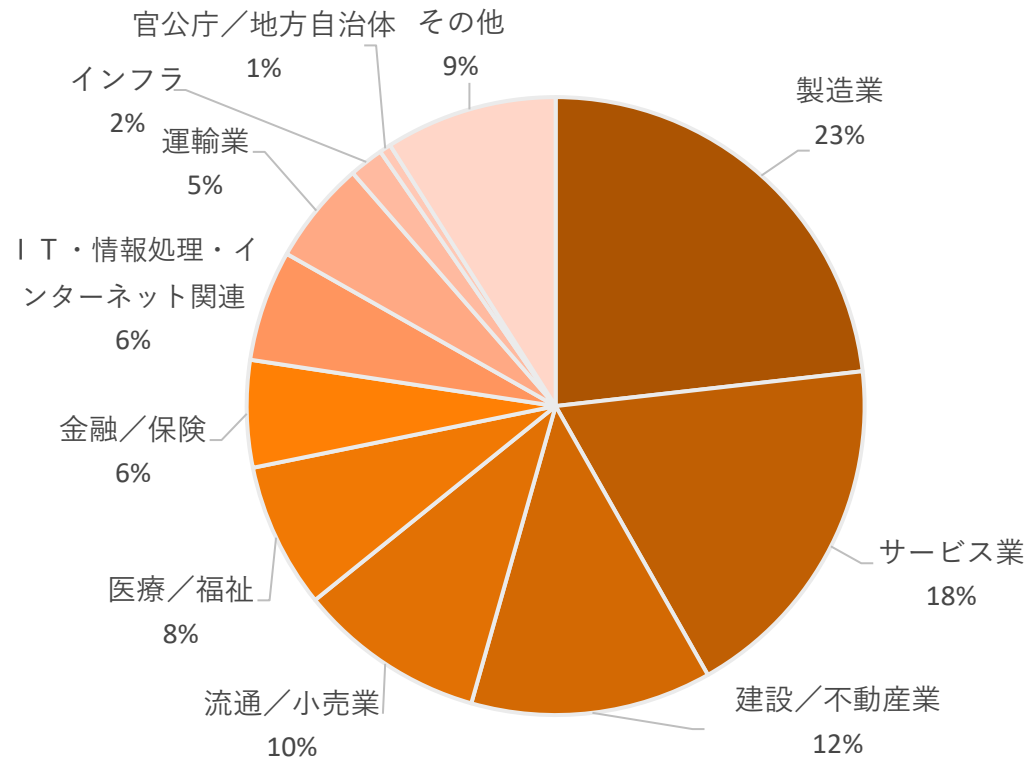
調査サマリ

1. 締結済み契約書の主な管理方法について、「紙でキャビネット管理」（61%）、「汎用的な文書管理システムで保管」（25%）、「契約書管理に特化したシステムで保管」（14%）と、まだまだ紙での管理が中心。
2. 約4人に1人（23%）が、締結済みの契約書を紛失した経験があると回答。契約の解約期限に気づかず自動更新した経験は44%、締結済みの契約書の内容に違反した経験は11%の方がそれぞれ経験ありと回答、締結後の契約書に潜むリスク管理に課題。
3. 新しい取引の開始を検討するときや契約書レビューの際に、過去の契約書を参考にしたいと思う担当者は8割以上いる一方で、半数以上（52%）が、「参考にしたい契約書を見つけられなかった経験がある」と回答。
4. 締結済み契約書を確認する際に一緒に確認したいものは、「締結経緯や修正履歴」（47%）がトップ。「注文書」（43%）、「交渉経緯」（41%）などが続き、契約書の確認と合わせて関連書類の確認を希望する声が上がった。

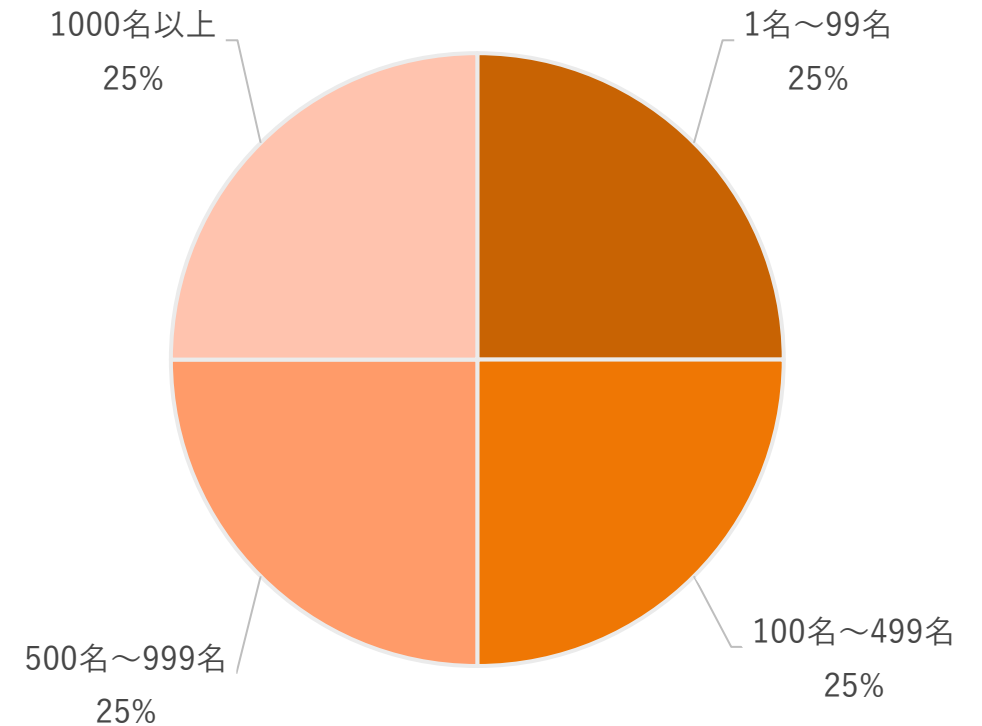
回答者プロフィール

企業に属しており、契約業務を行うことのある担当者（以下、契約業務担当者）500名

●業種



●企業規模

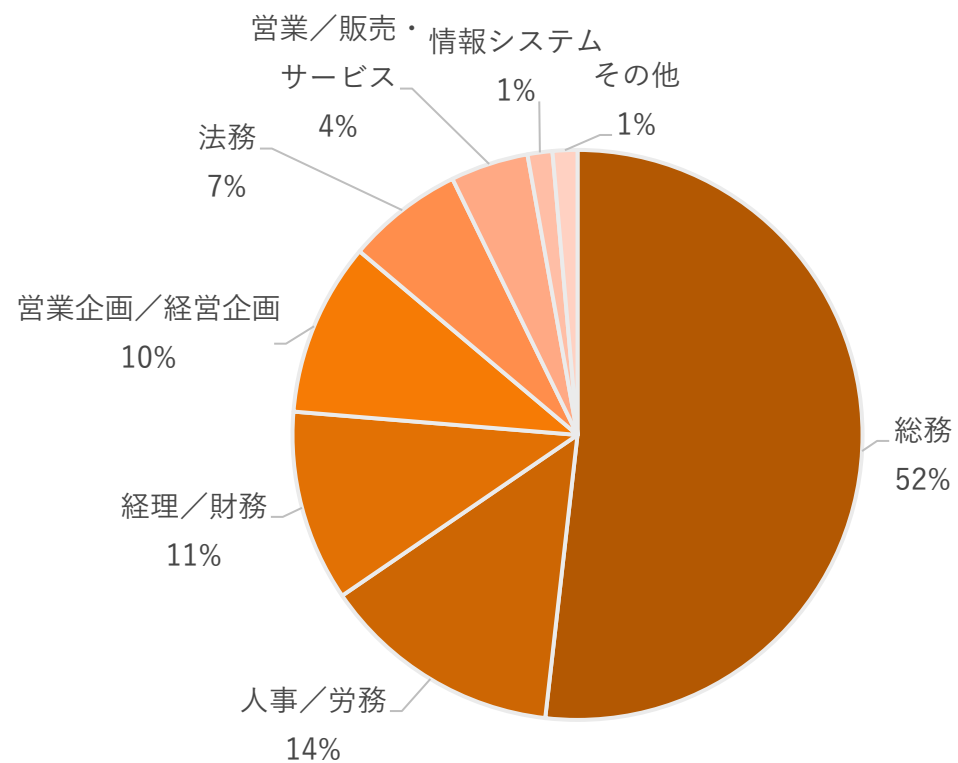


※小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%にならない

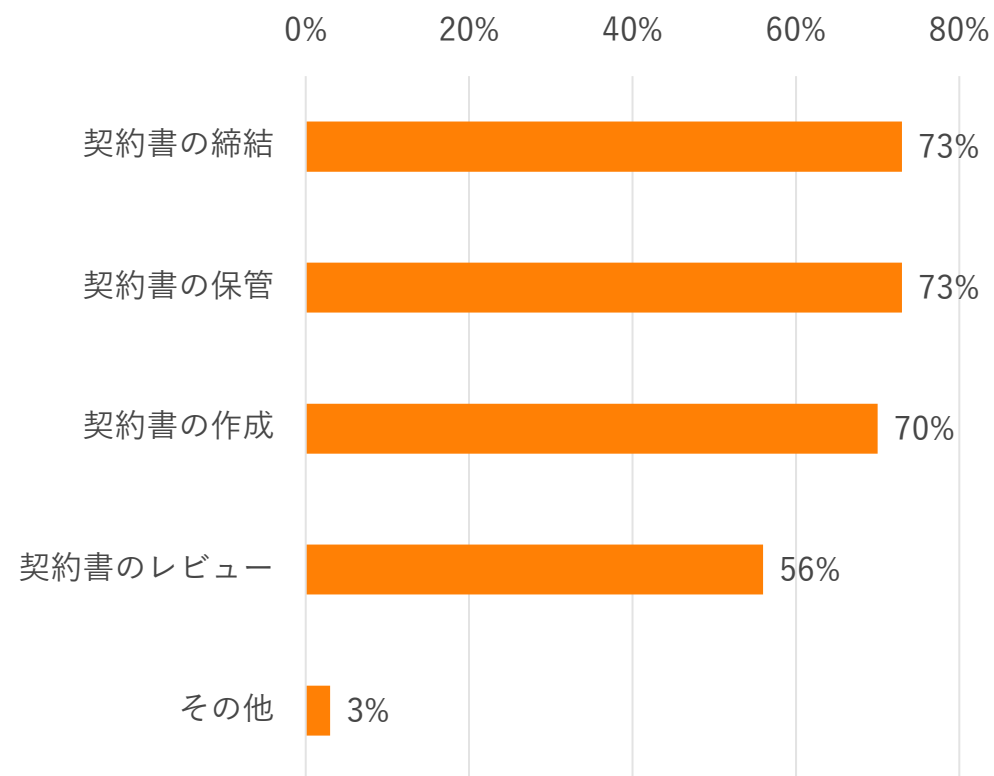
回答者プロフィール

契約業務担当者 500名

●職種



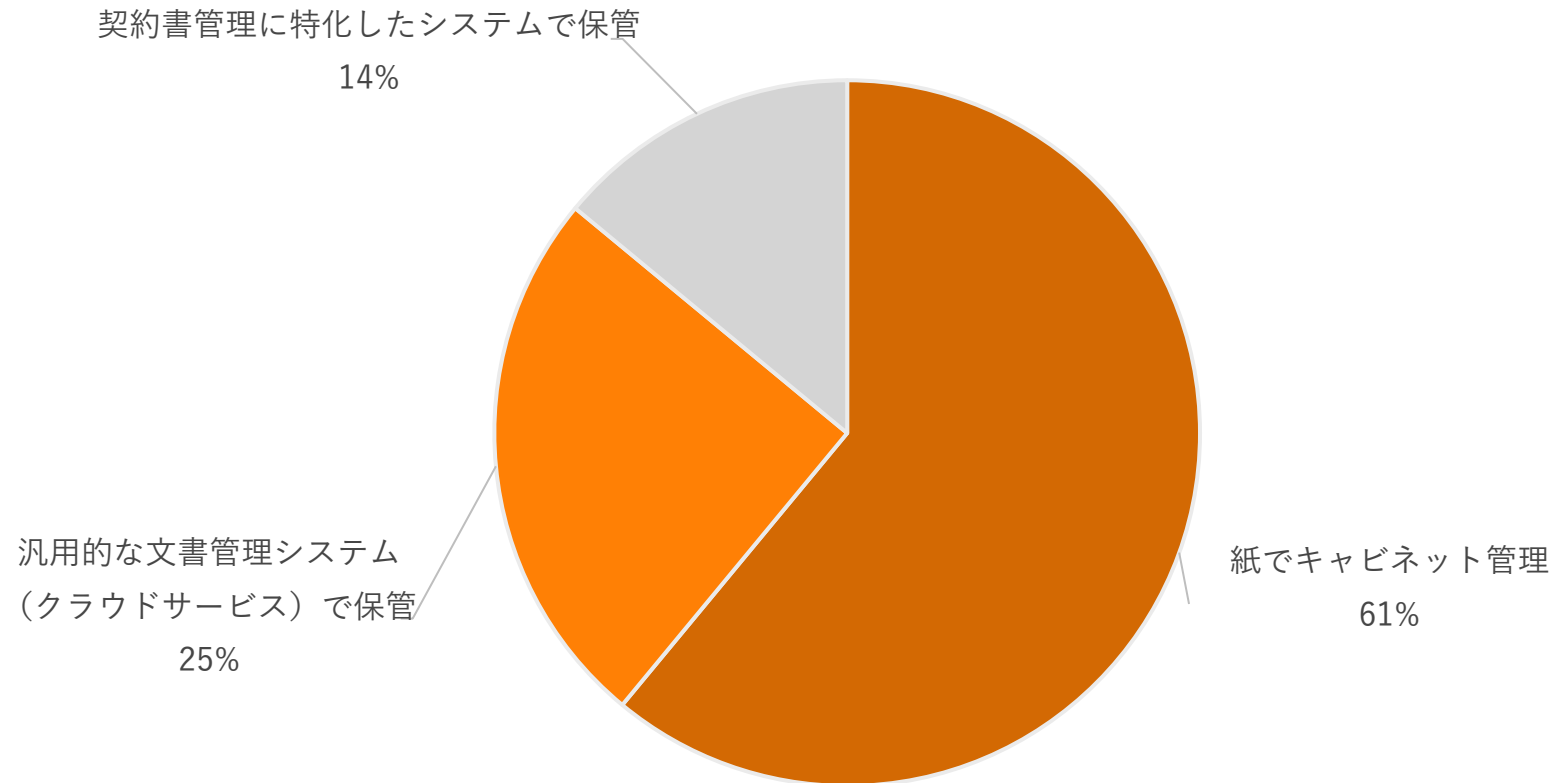
●実施業務（複数回答）



締結済み契約書の主な管理方法について教えてください。

契約業務担当者のうち、契約書の保管業務を行う担当者 363名

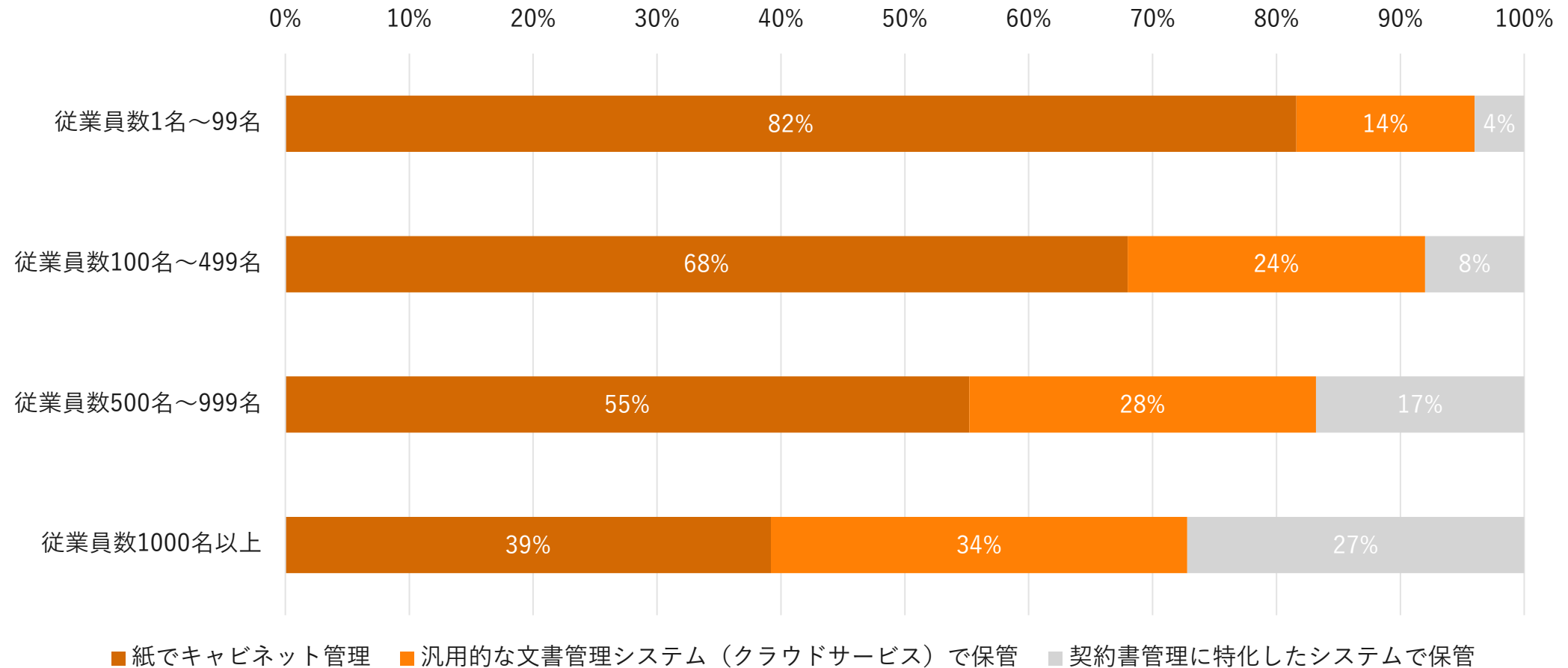
- 締結済み契約書の主な管理方法について、「紙でキャビネット管理」(61%)、「汎用的な文書管理システムで保管」(25%)、契約書管理に特化したシステムで保管(14%)と、まだまだ紙での管理が中心。



締結済み契約書の主な管理方法について教えてください。

契約業務担当者のうち、契約書の保管業務を行う担当者 363名

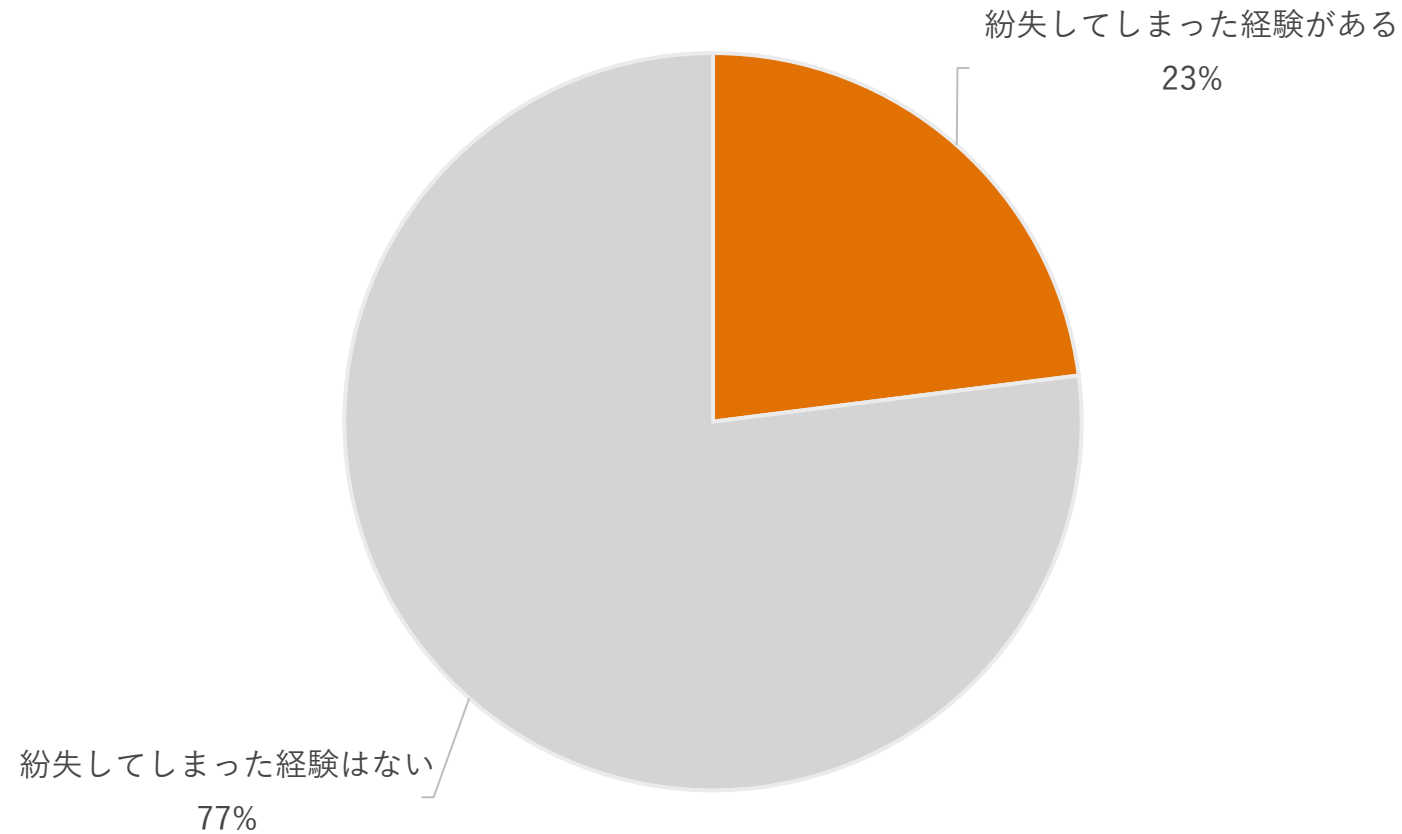
- 企業規模の小さいほど、紙で契約書を管理している割合が高く、従業員数1名～99名では、82%が紙で管理をしていることが判明。



締結済みの契約書を紛失した経験はありますか。

契約業務担当者のうち、契約書保管業務を行うことのある担当者 363名

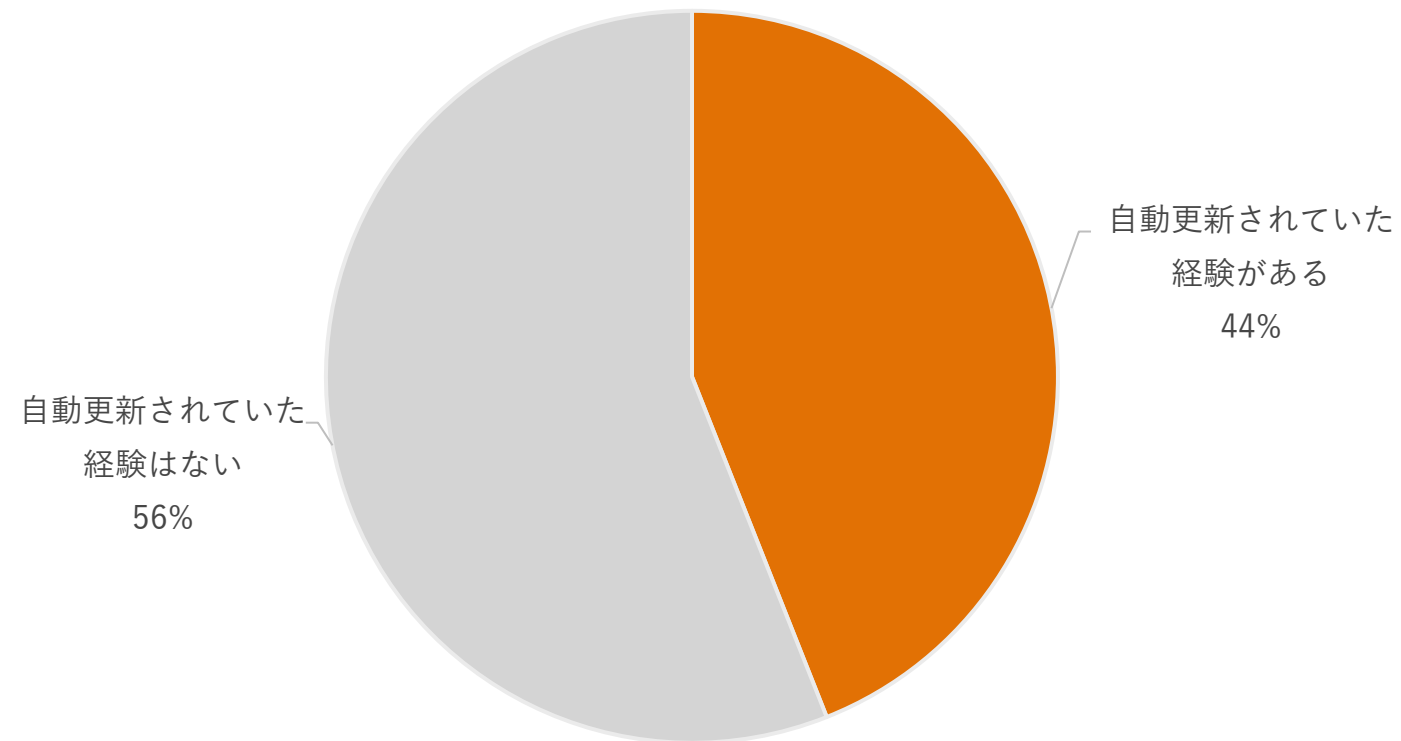
- 約4人に1人（23％）が締結済みの契約書を「紛失してしまった経験がある」と回答。



契約の解約期限に気づかず契約が自動更新されていた経験はありますか。

契約業務担当者のうち、契約書保管業務を行うことのある担当者 363名

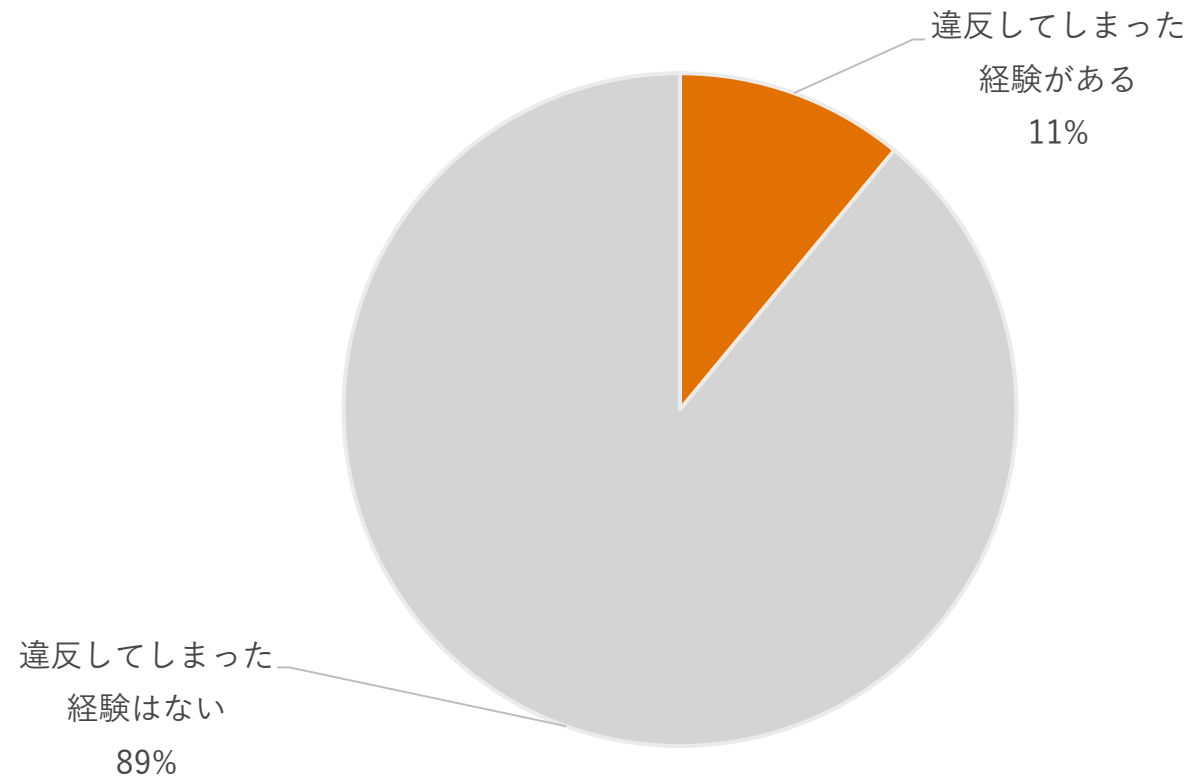
- 44%が契約の解約期限に気づかず契約が「自動更新されていた経験がある」と回答。



締結済み契約書の内容を違反した（競業避止、再委託の禁止、地位の譲渡禁止など）経験はありますか。

契約業務担当者 500名

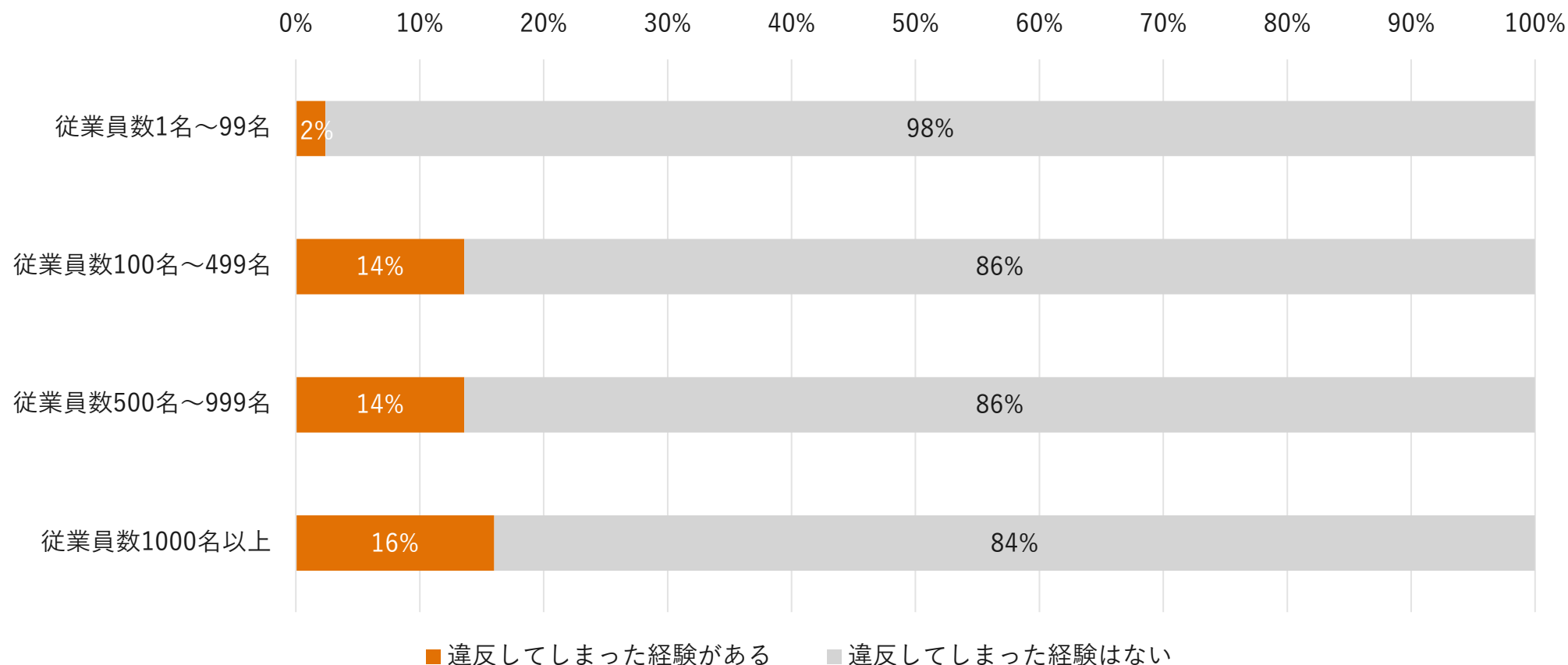
- 11%が、締結済み契約書の内容を「違反してしまった経験がある」と回答。



締結済み契約書の内容を違反した（競業避止、再委託の禁止、地位の譲渡禁止など）経験はありますか。

契約業務担当者 500名

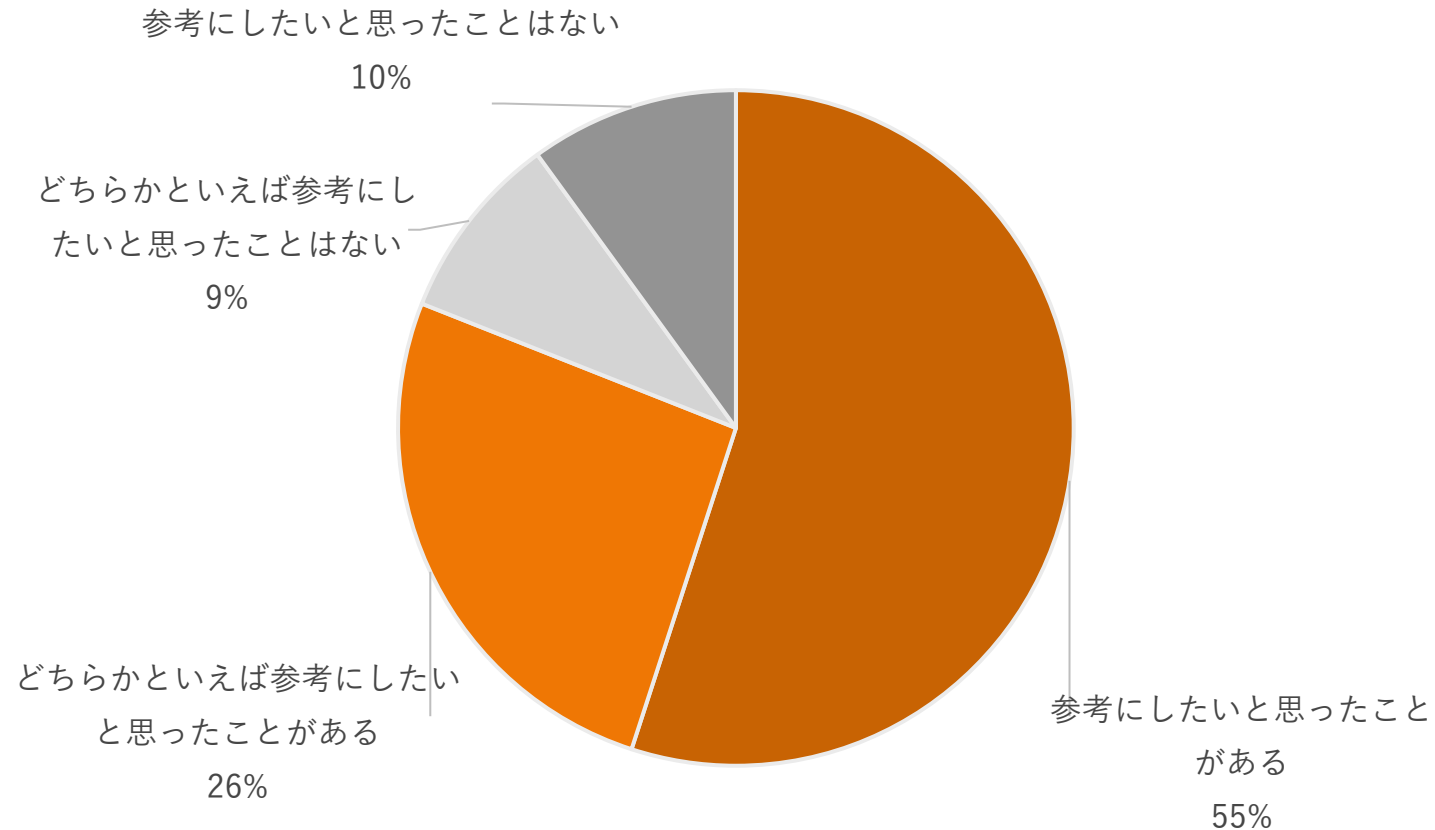
- 企業規模が大きくなるほど、締結済み契約書の内容を違反した経験のある割合が高まる。



新しい取引の開始を検討するとき、取引を実施するかどうかの判断材料として、過去自社が締結した契約書を参考にしたいと思ったことはありますか。

契約業務担当者 500名

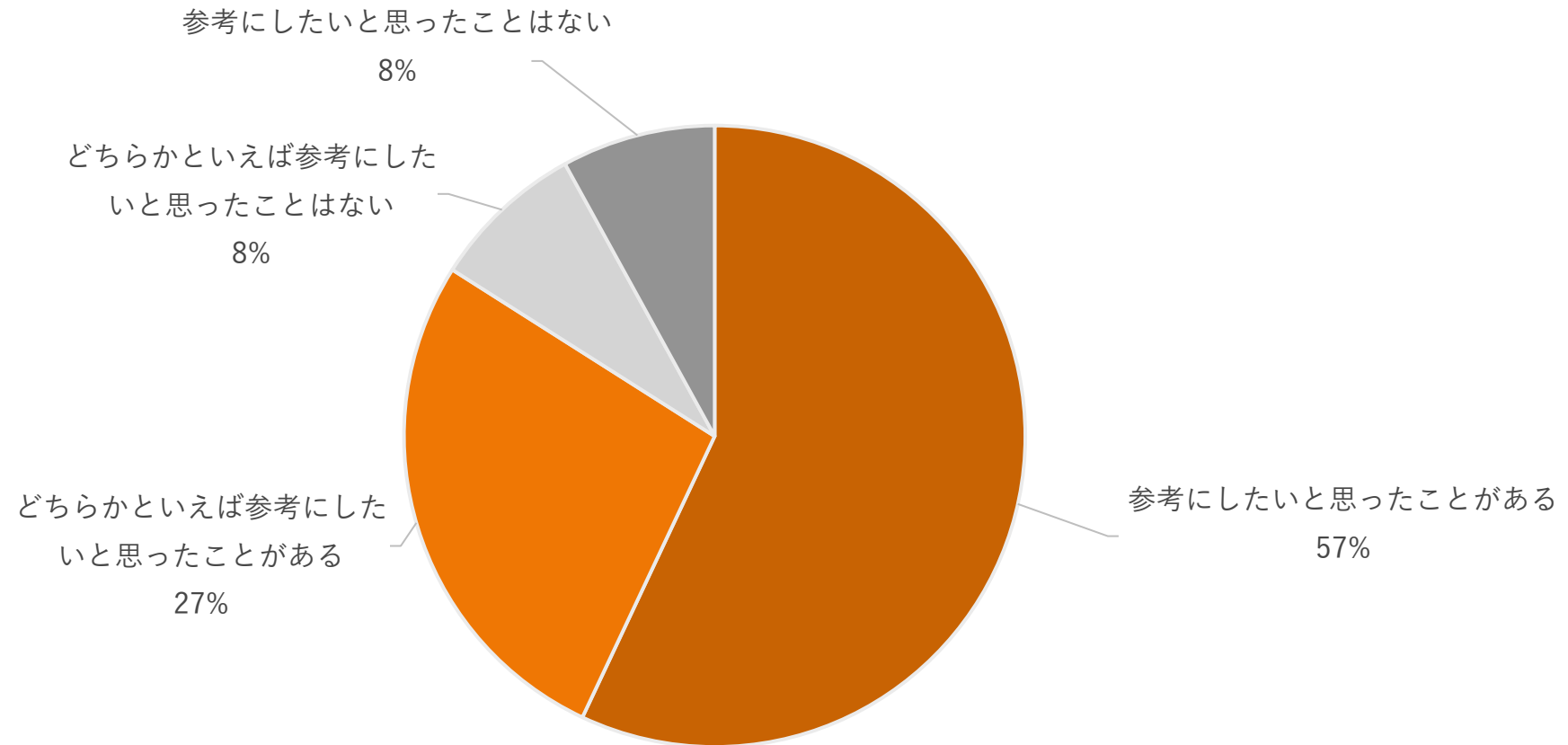
- 8割を超える担当者が新しい取引の開始を検討するときに過去に自社が締結した契約書を「参考にしたいと思ったことがある」（参考にしたいと思ったことがある、どちらかといえば参考にしたいと思ったことがあるの合計）と回答。



契約書レビューの際に、過去の自分またはメンバーがレビューした契約書を参考にしたいと思ったことはありますか。

契約業務担当者のうち、契約書レビュー業務を行う担当者 278名

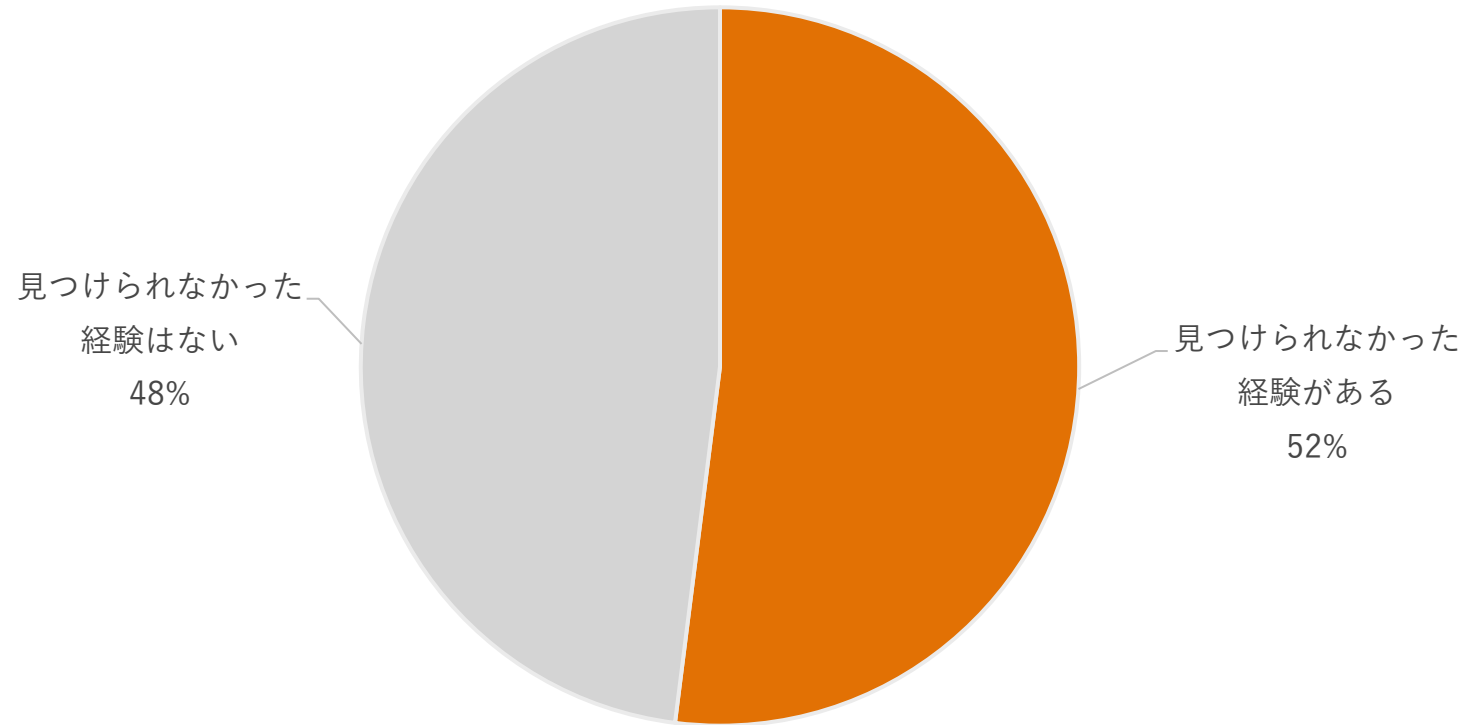
- 84%の担当者が契約書レビューを行う際、過去の自分またはメンバーがレビューした契約書を「参考にしたいと思ったことがある」（参考にしたいと思ったことがある、どちらかといえば参考にしたいと思ったことがあるの合計）と回答。



参考にしたい契約書を見つけられなかった経験はありますか。

「新しい取引の開始を検討するとき、契約書レビューを行うとき」に、過去の契約書を「参考にしたいと思ったことがある」「どちらかといえば参考にしたいと思ったことがある」と回答した契約業務担当者418名

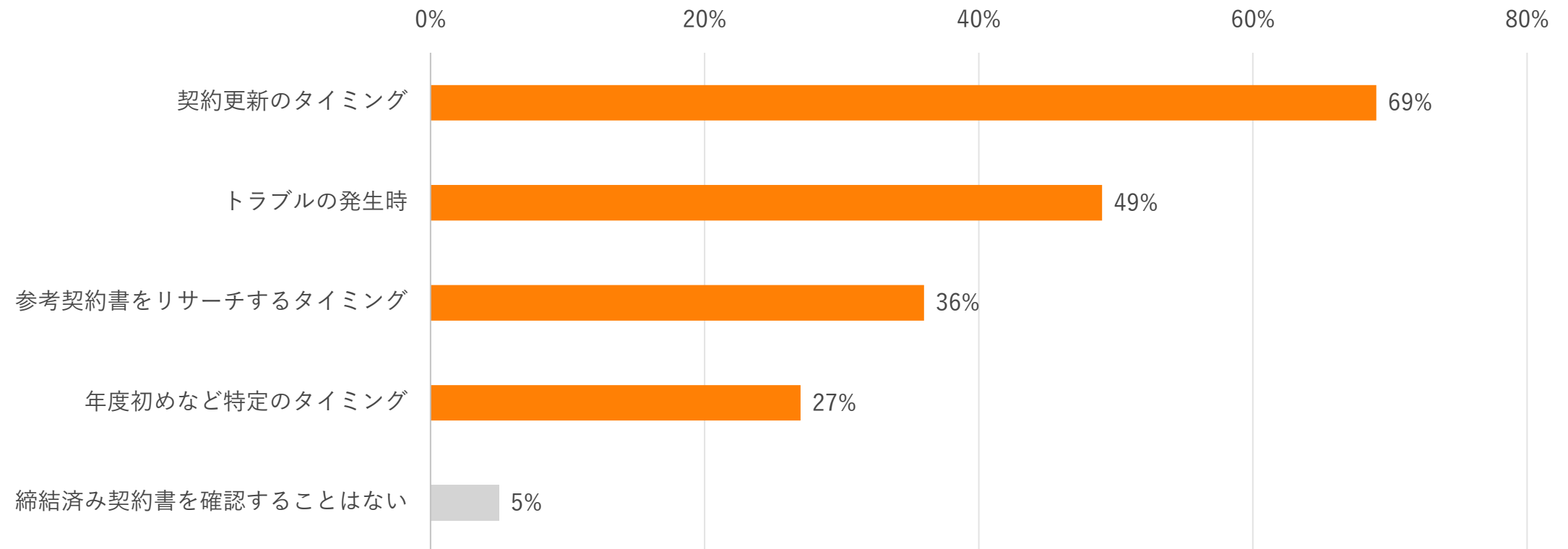
- 約半数（52%）が、参考にしたい契約書を見つけられなかった経験があると回答。



締結済みの契約書を確認するタイミングはどのような時ですか。（複数回答）

契約業務担当者 500名

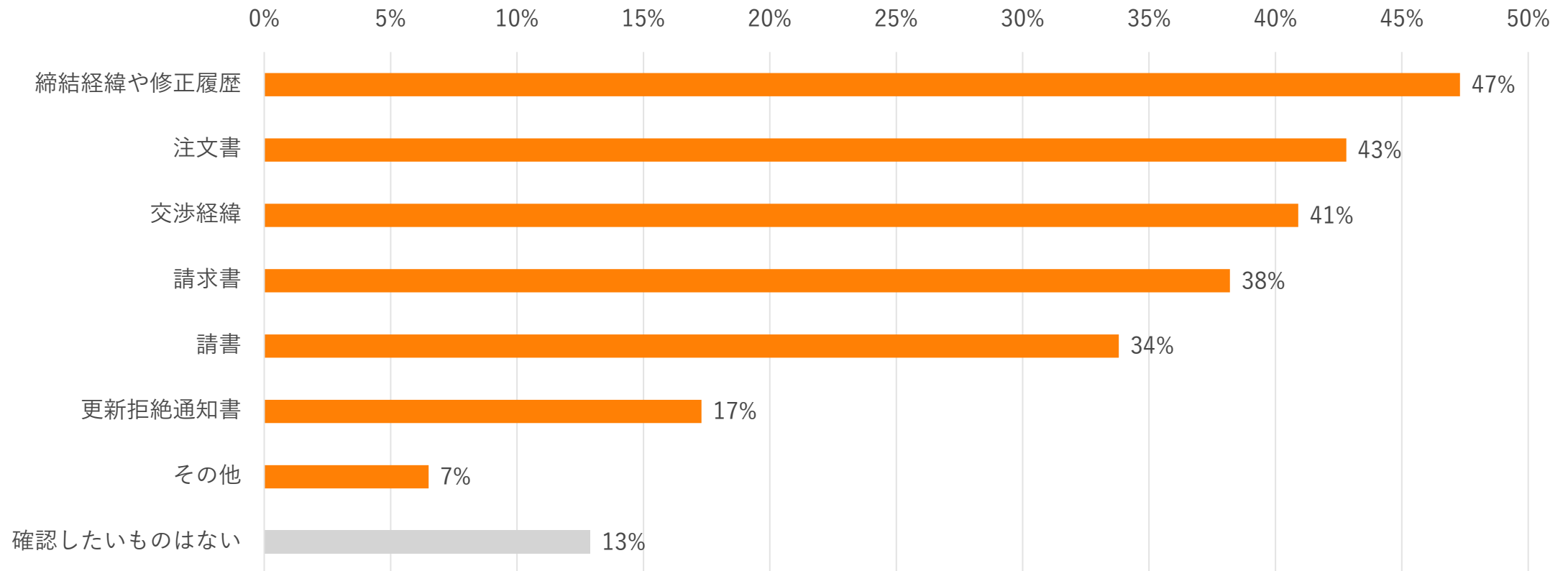
- 締結済みの契約書を確認するタイミングとして、最も多いのは「契約更新のタイミング」（69%）。続いて、「トラブル発生時」（49%）、「参考契約書をリサーチするタイミング」（36%）、「年度初めなど特定のタイミング」（27%）。「締結済み契約書を確認することはない」、と回答したのは5%。



締結済みの契約書を確認する際、あわせて確認したいものはどれですか。（複数回答）

締結済みの契約書を確認するタイミングがあると回答した契約業務担当者474名

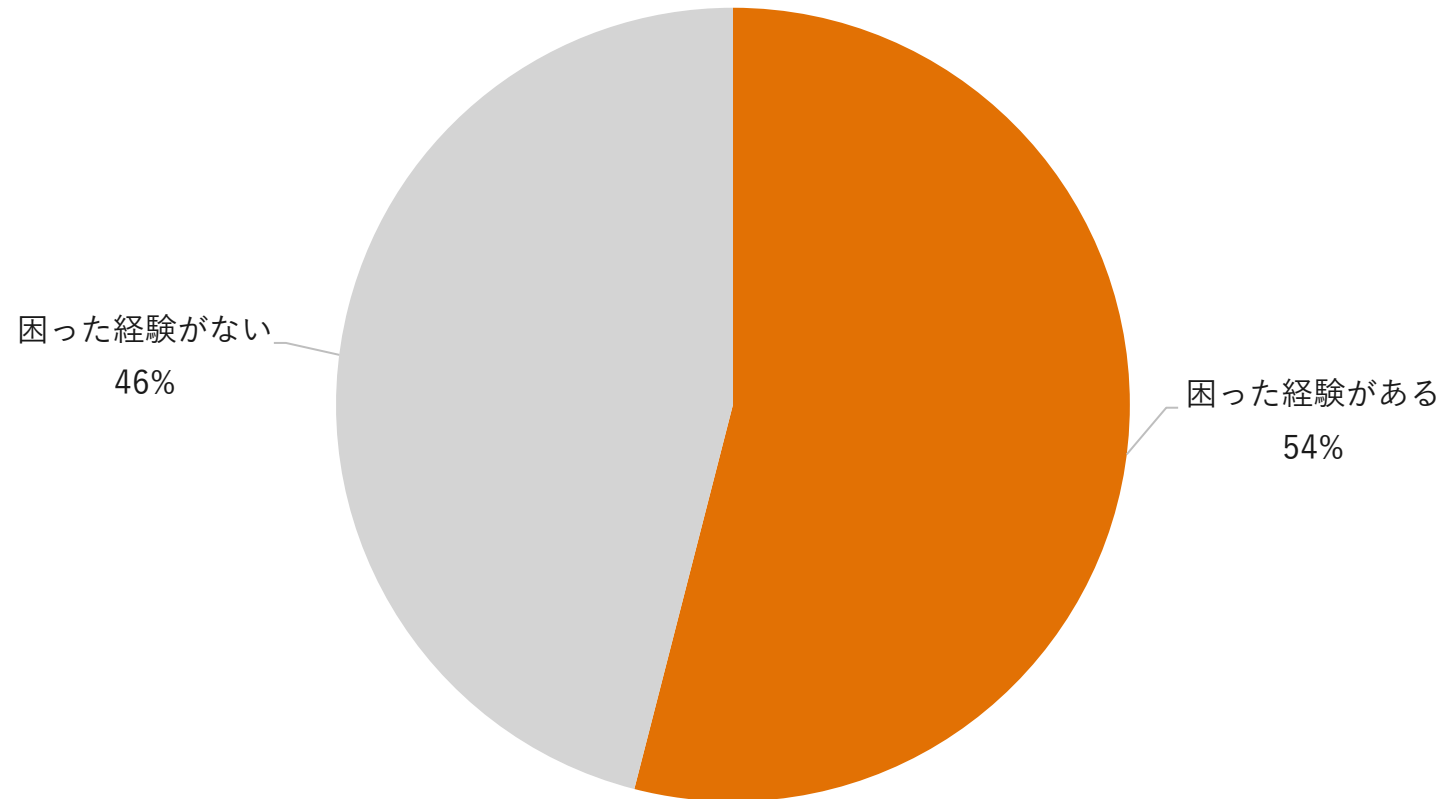
- 「締結経緯や修正履歴」（47%）がトップ、「注文書」（43%）、「交渉経緯」（41%）が続く。「確認したいものはない」は13%にとどまっており、契約書と併せて関連書類を確認したいニーズが明らかになった。



締結時と担当者が変わった、退職したなどで、過去の締結経緯がわからず困った経験はありますか。

契約業務担当者 500名

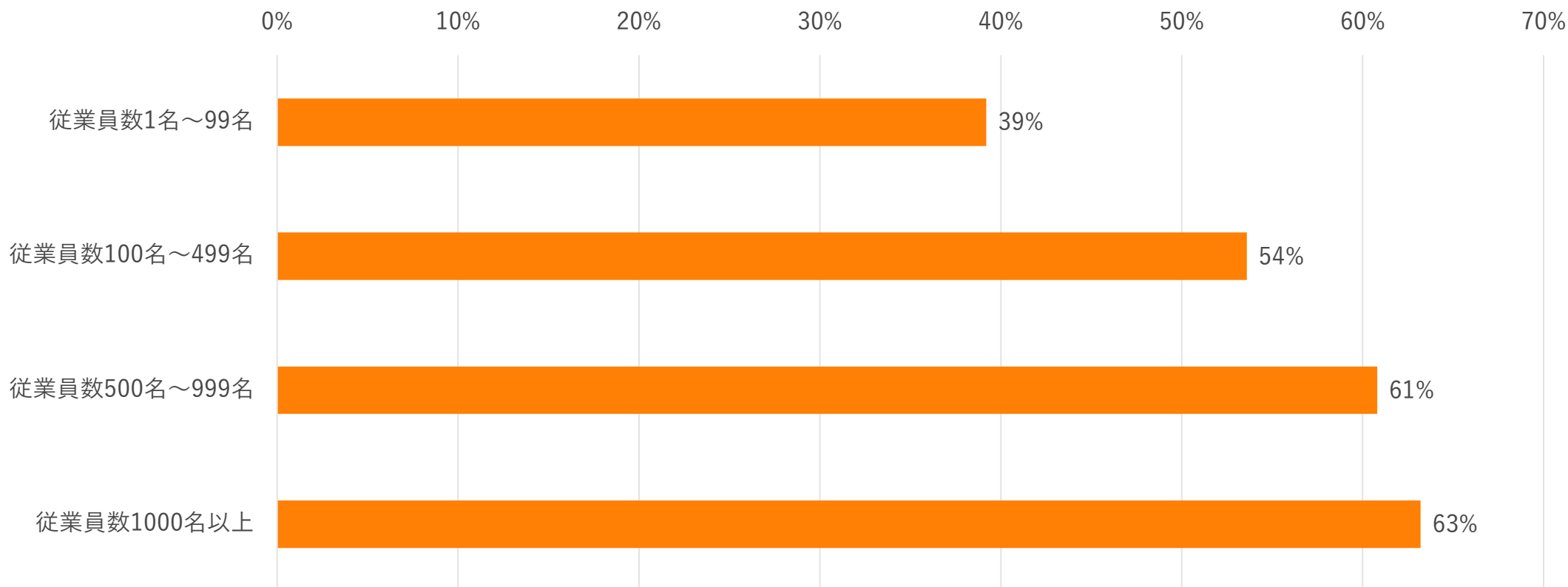
- 半数を超える担当者が過去の締結経緯がわからず「困った経験がある」と回答。



締結時と担当者が変わった、退職したなどで、過去の締結経緯がわからず困った経験はありますか。

契約業務担当者 500名

- 企業規模の大きい順に、過去の締結経緯がわからず困った経験のある割合が増加。





法とテクノロジーの力で、安心して前進できる社会を創る。

Advancing Legal Practice with Technology

お問い合わせ

本調査結果の内容や弊社が提供する製品についてのお問い合わせは、以下よりお願い致します。

TEL : 03-6206-6220

Mail : pr@legalontech.jp

株式会社LegalOn Technologies

<https://legalontech.jp/>